

「自立と共生」をめざした小中学校、地域との連携

ねがい
つながり

〈 目的 〉

小学校と中学校、地域が連携をして「自立と共生：自分の目標に向かって、みんなと協力して行動できる児童生徒」を育成します。

〈 内容 〉

● 東学校群の共通目標の設定

東学校群の共通目標「あいさつ 返事 正しいことばづかい」を設定し、小学校では強調週間を設けてあいさつ運動を行い、中学校では部活動とタイアップして朝のあいさつ運動を展開しています。地域の方にもご協力いただいています。



【地域の方とのあいさつ運動】

● 児童会、生徒会による合同研修会

夏休みに、4小学校の児童会と中学校生徒会による合同研修会を実施しました。各学校の児童会、生徒会の取り組みを紹介したり、東学校群の共通目標「あいさつ 返事 正しいことばづかい」を実現するためにはどのようにすればよいかを話し合ったり、実りある研修会になりました。



【児童会、生徒会合同研修会】

● 小学生による部活動見学

4小学校の6年生児童が11月末に中学校の部活動見学を行いました。小学生にとってはどの部活動に入るかを決める参考になるうえ、中学生にとっても自分たちの活動を紹介できるので、いつも以上にはりきって部活動に取り組むよい機会となっています。

● 中学校生徒会による学校紹介

中学校入学前の小学校6年生に対して、中学校生徒会が、4小学校を訪問して、学校紹介を行っています。教科担任制による授業や部活動などを中心に学校生活を紹介しています。入学を直前に控えているので、小学生からの質問も多く、たいへん好評です。

● 小中学校教員、地域との連携

中学校教員が小学校へ美術、音楽の授業に行っていますし、教育相談担当、生徒指導担当など、小中の各担当が、定期的に集まり連携を深めています。また、東学校群の小中学校教員、保護者、地域の方による連携協議会も開催しており、学校と地域の連携もこれまで以上に深まっています。

高まり

〈 成果 〉

地域の方から「児童・生徒がよくあいさつをするようになった。」と言ってくれるようになりました。また、小学生は中学生と交流することで目標を持つことができ、中学生は自分の成長を感じることで自尊感情が高まっていると思われます。教員の連携も進み、各担当同士の情報交換はもちろん、今後は9年間のカリキュラムについても研修を深めていこうとしています。